

1 外交・安全保障政策の概要

2010年5月に発足したキャメロン前政権は、国内経済及び財政再建のため、外交を英国の経済発展・繁栄に結びつけることに重点を置き、貿易・投資を推進するとともに中国・インド等の新興経済諸国との経済関係を重視した。

2015年5月の総選挙後に発足した第二次キャメロン政権は、引き続き自由貿易協定や新興経済諸国との外交を通じた貿易、投資、雇用機会の創出を推進するとともに、GDPの2%を防衛費に充てるという2015年9月のNATOウェールズ首脳会合のコミットメントと、国際開発予算の対国民総所得比0.7%目標を掲げ、強い英国を打ち出した。

2016年7月にキャメロン前首相の後を継いで就任したメイ首相は、各国首脳との会談等で、英国はEUを離脱する決断をしたが引き続き欧州の一員であり、世界からの後退を決断したわけではなく、国際社会に引き続き積極的に貢献していくと表明している。

2 国防予算等

(1) 国防予算（2014年） 約658億ドル（ミリタリー・バランス2016）

(2) 兵役

志願制

(3) 兵力

陸軍約8.8万人、海軍約3.3万人、空軍約3.4万人、陸海空予備役約8.4万人（ミリタリー・バランス2016）

II-4 経済

1 主要産業

自動車、航空機、電気機器、エレクトロニクス、化学、石油、ガス、金融

2 主要貿易品目

(1) 輸出

原油・石油製品、自動車、医薬品、発電機

(2) 輸入

原油・石油製品、自動車、食料品、電気機器

主要貿易相手国： ドイツ、米国、オランダ、フランス、中国

3 通貨

スターリング・ポンド

4 為替レート

1 ポンド=約 131 円 (2016 年 8 月 15 日付)

5 経済概要

(1) 英国経済は、内需の下支えにより成長が継続していたが、2016 年 6 月 23 日の EU 国民投票の結果、英国の EU 離脱が決定したことで不確実性が大きく増し、企業景況感と消費者信頼感は大幅に低下している。英国の EU 離脱の決定を受け、IMF、BOE、民間金融機関等は今後数年間の英国経済の見通しを下方修正した。

(2) 英国政府は、財政健全化のため、2010 年 6 月に 1) 「構造的経常財政収支を 5 年度以内に黒字化」することを主目標、2) 「純債務残高対 GDP 比を 2015 年度までに減少」させることを補完的な目標に掲げたが、欧州経済危機等経済情勢の悪化を受け、右目標の達成が難しくなった。このた

め、2015年1月、この目標の改訂案が下院で可決され、1)の主目標は「今後3年度以内に黒字化」、2)の補完的目標は「2016年度から減少」に改訂された。

その後成立した保守党単独政権下においても、「2019年度の財政収支の黒字化」、「純債務残高対GDP比の毎年度減少」と目標が改訂されつつも財政健全化の方針が維持されたが、EU国民投票結果を受け、今後、上述の財政健全化目標の改訂等、これまでの緊縮財政策からの政策変更が予想される。

(3) 金融政策では、2013年7月に就任したカナダ出身のカーニー新イングランド銀行新総裁は、2013年8月、失業率が7.0%を上回る間は現在の政策金利(0.5%)及び量的緩和の規模(3,750億ポンド)を維持するという指針を明示(フォワードガイダンス)し、2014年4月に失業率が7.0%を下回ったのを受け、2014年5月からは失業率を含めた複数の指標から総合的に金利引上げ時期を判断する段階に移行した。

しかし、英国のEU離脱決定に伴う英国経済の見通し悪化を受けて、2016年8月に、政策金利の0.25%への引下げ、資産買取プログラムの4,350億ポンドへの増額、ターム資金供給策(TFS)の導入、社債買取スキーム(100億ポンド)の導入からなる一連の金融緩和策の実施を決定した。

(4) 政府は、緊縮財政を進める一方で、成長には投資と輸出の促進が必要との認識の下、法人税の引下げ、経済インフラへの公共投資(クリーン・エネルギー、交通等)を進め、経済特区の新設・拡大や各種優遇策により欧州一のビジネス環境整備を目指すとしている。併せて、中小企業による輸出、新興国向け輸出の強化を目指し、重要産業(医療・ライフサイエンス、自動車等)への集中的な支援策を実施している。

英国経済に関する各種指標については、次の表を参照されたい。

(出典：IMF、英国統計局)

<各種指標>	単位	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
GDP (実質)	10億ポンド	1,659	1,589	1,614	1,646	1,665	1,701	1,750	1,789
GDP (名目)	10億ポンド	1,520	1,486	1,556	1,619	1,665	1,735	1,817	1,864
一人当り GDP	ポンド	24,750	24,044	24,984	25,590	26,139	27,072	28,132	28,634
経済成長率 (実質)	%	-0.5	-4.2	1.95	2.0	1.2	2.2	2.9	2.2

(出典：IMF、英国統計局)

<各種指標>	単位	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
消費者物価 上昇率	%	3.8	2.2	3.3	4.6	2.7	2.0	0.9	0.1
失業率	%	5.7	7.6	7.9	8.1	8.0	7.6	6.2	5.4
輸出額	10億ポンド	421	399	444	497	499	518	512	510
輸入額	10億ポンド	467	433	487	524	536	557	548	549
財政収支	年、GDP比%	-5.0	-10.7	-9.6	-7.7	-7.7	-5.6	-5.6	-4.4

(単位：10 億ポンド) (出典：英国統計局 2015 年数値)

		輸出		輸入		収支
英国の EU28 域内貿易		134	(-100%)	223	(-100%)	-89
(内訳) 主な相手国	ドイツ	31	(-23%)	62	(-27%)	-31
	オランダ	17	(-16%)	31	(-14%)	-14
	フランス	18	(-13%)	24	(-11%)	-6
	アイルランド	17	(-13%)	13	(-6%)	4

(単位：10 億ポンド) (出典：英国統計局 2015 年数値)

		輸出		輸入		収支
英国の EU27 域外貿易		151	(-100%)	197	(-100%)	-46
(内訳) 主な相手国	米国	48	(-32%)	35	(-18%)	13
	中国	13	(-9%)	38	(-19%)	-25
	スイス	7	(-5%)	8	(-4%)	-1
	インド	4	(-3%)	7	(-4%)	-3